



生きものの“つぶやき”：

「親鳥：あれ、さっきどの子にあげたっけ？」

エッセイ：

車内から野鳥を探していた時、近くの木の枝に小さな鳥が何度も何度も来ているのに気付きました。野鳥撮影のために持ってきていた望遠カメラですぐさま倍率を上げ確認すると、そこには同系色の小さな巣があり、コサメビタキのオスとメスが代わりばんこに餌を運び子育てをしていました。食べ盛りの幼鳥たちにせっせと餌を運ぶ様子は、とても一生懸命で愛らしかったです。ずっとずっと子育ての様子を観察していたかったけど、天敵のカラスなどに私が見ていることで巣の場所がバレたら困ると思い見るのをやめました。無事に巣立ったかどうかは確認できなかったけれど、元気に育ってくれているといいな。次は成長していく様子を見守りたいです。（298字）

生きものの紹介：

コサメビタキ(スズメ目ヒタキ科サメビタキ属)

全長は約13cmで、夏鳥に分類されている。雌雄同色で平地から山地の林に生息。類似種にサメビタキとエゾビタキがいて、違いは胸から腹にかけて縦斑がないこと。

撮影場所・日時：

奈良県宇陀郡曾爾村屏風岩 2025年7月20日

応募者の自己紹介：

1. 氏名：松尾笑未里
2. 高校・学年：奈良学園高等学校・1年

審査員からのコメント：

タイトルと合っています。

すごくきれいに撮れている写真ですね。つぶやきもこの光景によく合っています。

コサメビタキの子育てをしっかり捉えていることに感心